

運動学：体幹

39-041 骨盤を挙上しないのはどれか。

- ア. 僧帽筋下部
 - イ. 外腹斜筋
 - ウ. 内腹斜筋
 - エ. 腰方形筋
 - オ. 腹横筋
1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ
4. ウ、エ 5. エ、オ

40-040 誤っているのはどれか。

- 1. 頸椎回旋は主として環軸関節で起こる。
- 2. 右斜角筋収縮は頭部の右側屈を起こす。
- 3. 右胸鎖乳突筋収縮は頭部の右回旋を起こす。
- 4. 胸郭下部では横径方向の運動が起こる。
- 5. 外肋間筋収縮は肋骨挙上を起こす。

◎ 頸部・体幹の対側回旋に働く筋

胸鎖乳突筋
僧帽筋上部線維
肩甲挙筋
短背筋群 (半棘筋、多裂筋、回旋筋、棘間筋)
外腹斜筋

頸部・体幹の回旋に働かない筋
斜角筋、腰方形筋

40-046 骨盤の前傾で誤っているのはどれか。

- 1. 円背で減少する。
 - 2. 肥満で増加する。
 - 3. 腰椎の後弯で減少する。
 - 4. 腸腰筋の短縮で増加する。
 - 5. 長座位で増加する。
- 腸腰筋は股直筋の筋で、
筋が、骨盤を前傾させる作用がある。
減少

41-043 頸椎で誤っているのはどれか。

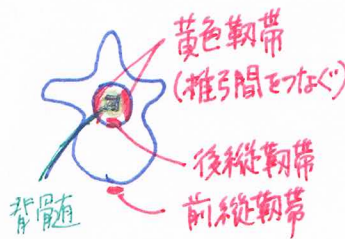
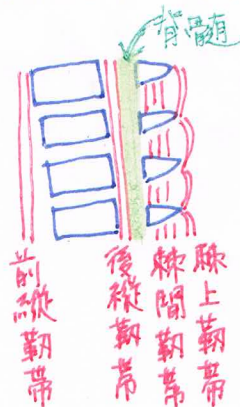
- 1. 環椎と軸椎との間には椎間板がある。
 - 2. 環椎後頭関節は顆状関節である。
 - 3. 回旋は正中環軸関節での運動が主体となる。
 - 4. 頸椎は生理的に前弯している。
 - 5. 頸椎の椎間孔は伸展で狭小化する。
- 環椎には椎体がない。
第1頸椎

42-044 体幹の運動で誤っている組合せはどれか。

- 1. 腹直筋——屈曲
- 2. 最長筋——伸展
- 3. 外腹斜筋——回旋 (対側回旋)
- 4. 内腹斜筋——回旋 (同側回旋)
- 5. 腰方形筋——回旋 (伸展・側屈、回旋には作用しない)

43-044 脊柱の屈曲を制限しない靭帯はどれか。

- 1. 項靭帯
- 2. 後縦靭帯
- 3. 前縦靭帯
- 4. 黄色靭帯
- 5. 棘間靭帯

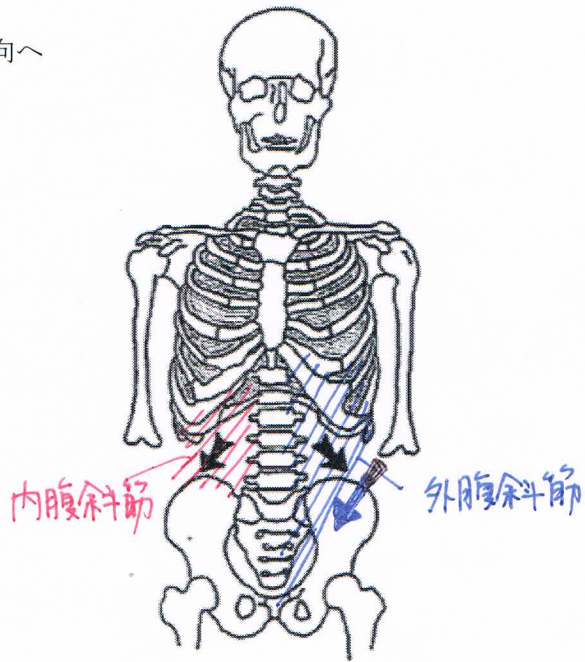


44-043 脊柱の屈曲に関する筋で正しいのはどれか。 2つ選べ

1. 腹直筋
2. 上後鋸筋 上部肋骨を引き上げる。 ↔ 下後鋸筋：下部肋骨を引き下げる。
3. 外腹斜筋
4. 腰方形筋：伸展 努力呼吸筋 努力呼吸筋
5. 脊柱起立筋：伸展

45-A-073 呼気の補助筋で図中の矢印の方向へ胸部を引き下げるのはどれか。

1. 腹直筋
2. 大腰筋
3. 腰方形筋
4. 内腹斜筋
5. 外腹斜筋



45-P-072 片側の収縮時に頭頸部または体幹を反対側へ回旋させるのはどれか。 2つ選べ。

1. 内腹斜筋
2. 外腹斜筋
3. 板状筋群
4. 胸鎖乳突筋
5. 後頭下筋群

47-A-072 筋と体幹の運動の組み合わせで誤っているのはどれか。

1. 最長筋 …………… 伸展
2. 腹直筋 …………… 屈曲
3. 腰方形筋 …………… 回旋には働かない。
4. 外腹斜筋 …………… 回旋 反対側への回旋
5. 内腹斜筋 …………… 回旋 同側への回旋

脊柱起立筋群 = 腸肋筋, 最長筋, 棘筋

49-P-072 筋と体幹の運動の組合せで正しいのはどれか。

1. 外腹斜筋 —— ~~同側への回旋~~ 反対側
2. 最長筋 —— 伸展
3. 腹横筋 —— 側屈 肋骨の引き下げ (努力呼吸筋)
4. 腹直筋 —— 伸展 屈曲
5. 腰方形筋 —— 屈曲 伸展